

令和7年度 アクティ∞（保育所等訪問支援）事業所における自己評価結果（公表）

公表：2026年 3月 6日

調査期間 2026年1月

事業所名 アクティ∞

従業者数4 回収数4 回収率100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	1 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	0%	人員基準を満たしている
	2 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	0%	0%	100%	振り返りを行い、質の向上に努めていく 今後、年間目標の設定等を検討していく
	3 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	100%	0%	0%	アンケートを実施し、意向の把握と、業務改善向上に努めている
	4 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	100%	0%	0%	毎年ホームページにて公開している
	5 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	0%	100%	現在、外部評価は受けていないが、今後検討していく
	6 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	100%	0%	0%	外部研修、法人内研修に参加している
業務改善	7 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%	0%	ご家族と面談を通じ、アセスメントやニーズの聞き取り、確認を行いながら個別支援計画を作成している
	8 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	100%	0%	0%	知能検査WISC-VI、Vの結果を活用しながら、決まった書式のアセスメントシートを使用している
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	100%	0%	0%	訪問開始前に、訪問先への聞き取り、情報共有を行い、訪問先の意向の確認を行いながら個別支援計画を作成している
	10 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	0%	策定会議を通して計画内容等を共有している
	11 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	0%	当事業所で標準化されたアセスメントを用いて、個々の状況に応じながら経過観察、利用児支援を行っている
	12 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	0%	策定会議を通して共有できるよう努めている
	13 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	0%	職員間で情報共有を行っている
	14 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%	0%	アセスメント作成時に訪問先の理念等を確認しながら計画作成し、支援している
	15 毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	0%	訪問後は毎回記録を作成し、訪問先、保護者と共有し、その都度ニーズの確認を行い、検証、改善しながら支援している
	16 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	0%	利用児の状況、保護者のニーズに応じて対応している
関係	17 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者、担当職員が出席している
	18 就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	0%	現在、就園対象者はいないが、就学時には施設や学校と情報共有を行っている。 今後も情報共有と相互理解に努めていく

機関や保護者との連携	19	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	0%	現在、助言は受けていないが、外部研修には参加している
	20	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	0%	0%	100%	現在は参加していないが、機会があれば参加予定
	21	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	0%	定期的に面談を行い、情報共有やニーズの確認を行いながら、個別支援計画を作成している
	22	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる情報共有の場を設けているか。	0%	0%	100%	ペアレント・トレーニングは行っていないが、定期的に個別で面談を行っている
保護者等への説明等	23	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	0%	契約時に説明している。 今後、追記等があれば丁寧に説明していく
	24	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%	0%	・保護者より利用の問い合わせがあった際に訪問先に説明している。 ・趣旨を理解していただけるよう努めている
	25	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	0%	計画の説明、確認し、了承いただき、同意の署名をいただいている
	26	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	0%	定期的に面談の機会を設け、課題解決、対応に努めている
	27	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	0%	100%	今後、保護者のニーズがあれば、父母の会などの開催を検討していく
	28	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	0%	相談や申し入れに対して、面談の機会を設ける等の対応を行っている
	29	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	0%	現在SNS等の活用は行っていないが、個別面談の際にお伝えしている。 今後、保育所等訪問支援についての発信について検討する。
訪問先施設への説明等	30	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	0%	鍵付き棚にて保管している。 今後も管理徹底に努めていく。
	31	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	0%	個々に応じた配慮を行っている。
	32	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	100%	0%	0%	訪問時に訪問先との情報共有等の時間を設けている時間が取れない時は、後日、電話等で対応している。
	33	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	100%	0%	0%	訪問支援後に訪問記録を作成し、家族と共有している
非常時等の対応	34	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	100%	0%	0%	訪問先の担当者とコミュニケーションを交えながら関係を築き、情報共有を行っている
	35	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	0%	0%	100%	訪問先での緊急対応があった場合は、訪問先のマニュアルに応じて対応を行う旨、契約時に説明している。
	36	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	0%	訪問先での支援になる為、安全な環境のもとで支援を行っているが、気になる点等があった場合は、訪問先に確認を行う
	37	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	0%	0%	100%	訪問先で起こるヒヤリハットについて、当事業所で確認できていないが、利用児の特性を踏まえ、訪問先で起きたヒヤリハットについて確認させてもらう
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	0%	虐待防止・権利擁護研修に参加した職員が他職員に研修を行う機会を設けており、今後も実施していく
	39	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	0%	0%	100%	現在、身体拘束の対象となる利用児がない

令和7年度 アクティ∞（保育所等訪問支援）保護者向け自己評価の集計結果（公表）

公表：2026年 3月 6日

調査期間 2026年1月

事業所名 アクティ∞

保護者等数(児童数)11 回収数9 回収率80%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	1	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	100%	0%	0%	
	2	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	100%	0%	0%	
適切な 支援の 提供	3	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	100%	0%	0%	
	4	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	100%	0%	0%	
	5	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	100%	0%	0%	
保護者 への 説明等	6	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	
	7	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	100%	0%	0%	
	8	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	100%	0%	0%	少しずつ、子どもの成長を感じている
	9	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	
	10	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	100%	0%	0%	子どもの良いところ、もう少し頑張ってもらいたいところを共有し、話しをする貴重な時間を設けている
	11	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思えますか。	100%	0%	0%	学校での様子を丁寧に記録されている
	12	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	78%	22%	0%	今後は個人面談だけではなく、SNSアプリケーション等を利用し、発信できるよう検討する
13	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	89%	11%	0%	保護者の方々に当事業所がおこなっている「個人情報の取扱い」について、ご説明する	
非常 対応 等の	14	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	89%	11%	0%	当事業の安全性の確保について、訪問先の施設と連携し、保育所等訪問支援をおこなう上で必要な安全性を明確にお伝えする
満足 度	15	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%	0%	0%	
	16	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	

令和7年度 アクティ∞（保育所等訪問支援）訪問施設先からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2026年 3月 6日

調査期間 2026年1月

事業所名 アクティ∞

訪問先施設数11 回収数10 回収率90

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	90%	10%	0%	・記録について、1日の詳細記載だが、もう少し簡潔にその日の気になる場面や課題について記入してはどうか。→訪問記録に際し、「要約」をおこないながら「要点」を伝えられるようにする。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	90%	10%	0%	・児童の傍で支援してくださり助かっている。 ・小学校の状況や様子を教えていただき、今の支援に繋げる事ができた。 ・保護者の思いや様子が聞けて良かった。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	100%	0%	0%	・小学校の交流級（クラス）での様子が分かって良かった。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	70%	30%	0%	・課題や困り事を今探しているところで、これから期待していきたい。 ・担任の相談にのっていただき、指導の参考になっている。 ・学校や学童での様子を共有でき、具体的な支援ができた。 ・自信をもって出来る事も増え、楽しそうに過ごす姿が多く見られるようになった。
5	事業所からの支援に満足していますか。	100%	0%	0%	月2回から月1回にしてほしい。→訪問先の予定等を把握しながら訪問回数について検討する

## 事業所における自己評価総括表（公表）

○事業所名	アクティ∞（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数） 9
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数） 4
○訪問先施設評価実施機関	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数） 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 18日		

### ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1.保護者および訪問先との報告・情報共有を大切に し、関係機関と連携しながら支援をおこなっている 2.支援内容やこどもの様子を丁寧に共有すること で、家庭・施設（園・学校）・当事業所が同じ方向 性で支援に取り組める体制を整えている	保護者および訪問先との信頼関係を深めるため、定 期的に面談の機会を設けており、支援状況の報告だ けでなく、ニーズの確認や課題の共有をおこない、 共通理解のもとで支援が進められるよう努めている	今後は、支援の中で見られたこどもの小さな「でき た」を写真等で共有するなど、言葉だけでは伝わり にくい成長の様子を視覚的に伝える工夫を検討し、 こどもの成長をより実感できるよう支援の質の向上 を図る
2	児童支援に関する知識と経験が豊富な職員が訪問支 援を担当しており、発達特性や集団生活における課 題に対し、専門的視点を踏まえた具体的な助言や環 境調整をおこなうことができる	1.児童分野の有資格者が訪問支援を担当し、専門性 に基づいた助言や支援を実施している 2.訪問先の状況を丁寧に把握し、現場で実践しやす い方法を提案することを意識している	これまでの訪問支援の事例を蓄積し、類似した特性 や課題に対する有効な支援方法を迅速に共有できる 体制づくりを進め、当事業所の策定会議等を通して 成功事例や工夫を共有することにより、職員全体の 支援力の向上と支援の質の均一化に努める
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援サービスの周知が十分とは言え ず、当事業所としての情報発信力に課題があると認 識している	現在は、問い合わせや利用意向があった施設に対 して個別に説明をおこなう形が中心となっており、利 用実績のない施設への積極的な情報提供が十分に できていないため、広い範囲への継続的な発信が不足 している	現在、配布しているチラシの内容を見直し、支援の 目的や具体的な内容がより分かりやすく伝わる資料 へと改善する。このことにより、サービスへの不安 や誤解を軽減し、安心して相談できるような情報 発信に努め、施設側（園・学校）の理解と期待につな げる
2			
3			